



子どもからシニアまで優しい街づくり

浦安を“日本一”^④ シニアが輝く街に!

吉村 啓治

よしむら けいじ



シニアは地域の人的資源。元気なシニアが街をもっと豊かにする

吉村提言 01

シニアの
安心

「安心」それは心地よい距離で
つながりがあるコミュニティ

吉村提言 02

シニアの
元気

「元気」それは今より先の
自分を信じて向上できる力

吉村提言 03

シニアの
活躍

「活躍」それは人や地域と
ふれあい、役立てる環境

Sustainable Development Goals

略称「SDGs」(持続可能な開発目標)を

千葉県と一緒にになって浦安市の羅針盤にしたい!

「SDGs」とは、「持続可能な開発目標」のこと、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された世界193カ国が推進する2016年から2030年までの地球環境の改善目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲット・232の指標から構成され、地球上の誰人取り残さないことを誓っています。

本市のSDGsに関する基本的考え方を3月議会一般質問で改めて問う。～質問と答弁の抜粋です。～

＜質問＞ 熊谷俊人知事は「SDGs推進は千葉の未来を築く上で欠かせない」と重要性を訴えています。

県はSDGs推進を総合計画に掲げているが、本市のSDGs推進に向けた取り組みについて問う。

＜企画部長答弁＞ 千葉県が現在策定を進めている千葉県総合計画のなかで、総合計画に掲げる政策・施策を着実に推進することが、SDGsを目指す社会の実現につながると記載しています。

本市におきましても、これまで答弁してきましたが、総合計画における将来都市像「人が輝き躍動するまち・浦安～すべての市民の幸せのために～」の実現を目指していくことが、SDGsの推進につながるものと考えており、SDGsの推進に対する市の取り組む考え方は、千葉県と同じ方向性であると考えています。

＜質問＞ 本市のSDGs推進の中、脱炭素化に向けた企業の取り組みについて市の認識と見解を問う。

＜環境部長答弁＞ 令和2年、国におけるカーボンニュートラル宣言を契機として、企業の脱炭素経営に向けた取り組みが急速な進展を見せていますが、市内でもゼロカーボンを目標設定とした企業が見受けられるところです。

本市の温室効果ガス排出割合では、事業系部門が約70%を占めており、ゼロカーボンシティの実現には、企業の積極的な取り組みが必要であると考えています。

今日、企業には社会的責任として生産性や利益の追求ばかりではなく、脱炭素社会実現に向け高い目標を持って取り組むことが求められています。市としましても環境に配慮した企業活動の取り組みについて、国のモデル事業の情報提供のほか、脱炭素化への取り組みに対する支援策についても検討してまいりたいと考えています。

＜質問＞ 浦安市議会本会議で、SDGs機運向上を目指す登録制度について、県が創設した「ちばSDGsパートナー登録制度」に対する市の認識と見解について問う。

＜市民経済部長答弁＞ ちばSDGsパートナー登録制度については、千葉県が創設・運営している制度であり、より多くの企業等が本制度を活用していくことで、SDGsが推進されていくものと考えています。

市としましては、この取組みを支援するため、市ホームページなどを通じて、市内企業等に向け、制度の周知を図ってまいります。



日の出1丁目地先の歩行者専用道が自転車供用に

日の出1丁目地先(三番瀬～シンボルロードまでの約700m歩行者専用道)の内、日の出メディカルガーデンからシンボルロードまでの約350mが、自転車と歩行者のゾーニングで区分され、今までの歩行者専用から自転車通行が供用されることになりました。



▲新しくなった共用道路

自転車を運転される皆様には、今までの様に、その先の車道に出て斜め横断や逆走したりする危険な行動はやめましょう。

残された三番瀬まで約350mは、平成4年度予算で同様の工事が行われる予定になっております。

今まで何度か市議会一般質問で要望させていただきました。

市担当部門の粘り強い交渉に応えていただいた千葉県葛南土木事務所に感謝します。

浦安インターチェンジ(クローバーインター)の美化

浦安インターチェンジ(クローバーインター)は、ディズニーリゾートの入り口となり、本市の象徴的存在ともなりました。

ご存じの方が多いと思いますが、道路にも、植栽にも多くのゴミが散乱して見苦しい状態でした。

内田悦嗣市長が就任以来、国・県・市の連携で清掃と除草が行われ、ゴミのないインターチェンジとなりました。

平成30年7月に千葉国道事務所と覚書を締結し、定期的な除草及び清掃を行っており、美観維持に努めております。

また、インターチェンジ内の県管理区域につきましても、定期的な植栽管理及び清掃に取り組んでおります。

平成30年度からは、一般社団法人「浦安建設業協力会」主催により、「浦安インターチェンジボランティア美化運動」が実施されています。

先日も、浦安建設業協力会などが参加して、ボランティア美化活動が実施されたと伺っています。



▲綺麗になった道路

東京湾前面護岸「日の出・明海の海辺開放」

浦安市東京湾前面護岸(幅40m×距離1635m)の開放について、千葉県との協議を始め全面開放に向けての取り組みが行われています。

日の出・明海海岸の開放につきましては、平成30年度より転落防止柵や階段などの安全に利用するための施設の整備を行っており、令和2年度までに全長1,635メートルのうち515メートルが開放されております。

令和3年度にシンボルロード先端付近までの約270メートル区間にについて、転落防止柵の設置や舗装補修並びに海岸への出入り口となるスロープの整備を予定され工事が行われて来ました。

安全柵に守られながら東京湾を望み安心してウォーキングを楽しむことができ、海辺のイベントなどもできます。



▲工事中のスロープと階段

▲総合公園に整備された階段

・総合公園からの階段施設が昨年完成し、シンボルロード突端からのスロープ並びに階段完成が間もなく、7月初旬には共用できると伺っています。

吉村啓治と浦安を語ろう！

吉村直通ホットライン 090-1551-4450
メール Yoshimurakeiji729@gmail.com
TEL&FAX 047-353-4527
ホームページ http://d-power.jp/



市政相談や市政へのご意見・ご要望をお寄せください。
吉村 啓治を応援してくださる元気なシニア募集中！
若者も大歓迎 !!

※議会報告のポスティングや市政報告会の開催などが、主な活動です。

浦安インターチェンジ357号線に架かる歩道橋修繕

浦安市道路管理課長から、私が一般質問し、市長が答弁された国道357号線に架かる横断歩道橋の補修が行われますと連絡いただき修繕箇所の確認をしました。

後日、友人から、クローバー交差点の歩道橋の手すり修繕が完成し感謝の弁をいただきました。

国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所船橋出張所の皆様にありがとうございます。



▲修繕前の歩道橋

浦安市斎場増設棟建設工事で小規模化や直葬に対応

昨今の葬儀形態は変化し、葬儀の小規模化が進んでいます。

このような近年の小規模化や直葬に対応するため、30人規模の式場と靈安室を増設することになり、本年10月に供用開始を予定で工事が進んでいます。

これにより、葬儀の多様化はもとより、葬儀日数の短縮が図られるほか、施設規模の拡大により、利用者の選択枠が広がる効果があります。



▲完成イメージ

小西洋之参議院議員と国政を語る会を実施

浦安市民プラザウェーブ101大ホールで行われた「小西洋之参議院議員と国政を語る会」には、県連最高顧問の野田佳彦衆議院議員、代表の長浜博行参議院議員、副代表田嶋要衆議院議員が小西洋之参議院議員へのエールを送ってくださいました。



▲熱弁する小西参議院議員

そして、懸命頑張っておられる立憲民主党のエースで、政調会長の小川淳也衆議院議員、政調副会長の小西洋之参議院議員と山田厚史氏(朝日新聞元編集委員・デモクラタイムス代表)が対談しました。

市民から求められるウクライナ問題や円安、物価高など多岐の課題について議論していただき、200人以上集まった皆様に納得いただけるパネルディスカッションを行うことができました。

編集後記



吉村 啓治

浦安市は東京湾の奥部に位置し、三方を海に囲まれ、都心へのアクセスの良さが魅力な都市です。

肥沃で遠浅の豊かな漁村が工業化による汚染水が流れ込み、公害で死の海となり、漁業権を放棄し、幾多の苦難を乗り越え、昭和43年から昭和56年まで公有水面が埋め立てられ市域面積が約17Km²となりました。その市域に17万1千人が住んでおり、平均年齢が42.7才で高齢化率が18%と全国でも有数の若さを誇る街です。

今回の議会報告は、本会議一般質問で要望した事案を掲載しました。

多くの事業が県の管理区分になっています。

内田悦嗣市長が就任以来、積極的に県との協議が進められ県との連携が良好に保たれ事業が展開していることを実感しています。

